

Operating System

(CC-BY 4.0) 2024 Taniii.com

2024-08-03

01-5.pdf

1. 入出力装置の接続に関する以下の点についてまとめよ

プロセッサの直接制御の問題点は何か

- **非効率性**：プロセッサが直接入出力装置を制御する場合、プロセッサは入出力操作が完了するまで待機しなければならない、その間他のタスクを実行できないため、システム全体の効率が低下します。

入出力制御装置の利点

- **割込みによる通知**：入出力制御装置は、入出力操作の完了を割込みによりプロセッサに通知するため、プロセッサは入出力操作の完了を待つことなく他のタスクを実行できます。
- **効率向上**：入出力制御装置が入出力操作を担当することで、プロセッサの負担が軽減され、システム全体の効率が向上します。

DMA 方式の利点

- **高速データ転送**：DMA (Direct Memory Access) 方式では、入出力制御装置が直接メモリとデータをやり取りするため、プロセッサを介さずに高速なデータ転送が可能です。
- **プロセッサの負担軽減**：プロセッサがデータ転送に関与しないため、プロセッサの負担が軽減され、他のタスクに集中できるようになります。

2. 入出力操作が実行される手順をまとめよ

入出力操作の流れ：

1. **入出力指令の作成**：OS が入出力指令（入出力コマンド）を作成し、メモリ内に配置します。
2. **入出力命令の発行**：プロセッサが入出力命令を発行します。入出力命令は入出力指令を指します。
3. **入出力指令の転送**：入出力指令が入出力装置に渡されます。
4. **入出力制御装置の役割**：入出力制御装置が入出力操作を制御し、メモリとのデータ転送を行います。
5. **割込みによる通知**：入出力が完了すると、制御装置がプロセッサへ割込みを発生させ、入出力の完了を通知します。

3. 入出力要求とその制御

入出力操作と入出力要求の関係をまとめよ

- **入出力操作の処理を行うのは誰か？**：入出力操作の処理を行うのは、入出力制御装置です。
- **入出力要求を行うのは誰か？**：入出力要求を行うのは、アプリケーションプログラムです。

同期式と非同期式の違いをまとめよ

- **同期式**：入出力操作が完了するまでプログラムが待機し、完了後に次の処理を開始します。
- **非同期式**：入出力操作を要求した後、プログラムは入出力の完了を待たずに次の処理を続けます。入出力の完了は割込みなどで通知されます。

入出力を非同期式とした場合、どのような問題が生じるか検討せよ。また、どのような利点があるか検討せよ。

問題点：

- **データ整合性の問題**：非同期式では、入出力の完了前に次の処理が進行するため、データの整合性を保つための追加の制御が必要です。
- **複雑なプログラム設計**：非同期処理を正しく実装するためには、プログラムの設計が複雑になり、デバッグが難しくなることがあります。

利点：

- **効率の向上**：入出力の完了を待つ必要がないため、プロセッサの待ち時間が減少し、システム全体の効率が向上します。
- **応答性の向上**：非同期処理により、ユーザや他のプロセスからの要求に対する応答性が向上します。

4. (参考) ブロッキングの概要と利点をまとめよ

ブロッキングの概要：

- ブロッキングは、複数の小さな入出力要求をまとめて大きなデータブロックとして処理する方式です。これにより、入出力操作の回数を減らし、効率を向上させます。

利点：

- **効率の向上**：入出力操作の回数が減るため、ハードウェアとオペレーティングシステムの効率が向上します。
- **割込み回数の減少**：入出力操作の回数が減ることで、割込み回数も減少し、プロセッサの負担が軽減されます。

5. (参考) バッファリングの概要と利点をまとめよ

バッファリングの概要：

- バッファリングは、入出力データを一時的にメモリ内のバッファに蓄えることで、入出力要求と実際の入出力動作を非同期に行う方式です。

利点：

- **並列処理の実現**：バッファリングにより、プログラムの実行と入出力動作を並列に行うことができ、システムの効率が向上します。
- **応答性の向上**：プログラムが入出力操作の完了を待つことなく次の処理を開始できるため、システムの応答性が向上します。

6. (参考) キャッシングの概要と利点をまとめよ

キャッシングの概要：

- キャッシングは、高速な中間メモリ（キャッシュ）を介して入出力操作を行う方式です。キャッシュにデータを保持することで、再度同じデータにアクセスする際の入出力速度を向上させます。

利点：

- **高速なデータアクセス**：キャッシュにより、ディスクなどの低速な入出力装置へのアクセスを減らし、高速なデータアクセスを実現します。
- **効率の向上**：キャッシュヒットが発生することで、入出力操作の回数が減り、システム全体の効率が向上します。

(CC-BY 4.0) 2024 Taniii.com